

廃プラの溶融から 不法投棄の処理まで地域に貢献。



田口社長

日の出衛生保繕株式会社

(愛知県日進市)

会社のマスコットキャラクターにカバを用いた親しみ溢れる日の出衛生保繕株式会社を訪ね、田口社長にお話を伺いました。

— 主な業務内容を教えてください。

田口社長（以下田口に略）「うちは一般廃棄物が主だったんですが、お客様のニーズに応じて、産業廃棄物の分野にも参画するようになりました。産業廃棄物に関わるようになったのは、長久手町の事業所系の一般廃棄物収集に伴った病院関係からの産業廃棄物などの収集からです。顧客に医科大学があるんですが、そちらの要望から感染性廃棄物も扱うようになりました。」

— 最近、業務の中で増えてきているものといえますか。

田口「最近多くなってきているのは廃プラスチックですね。スーパーなどの発泡スチロールの溶融処理を行っています。」

— 廃プラスチックですとリサイクルなども手がけているのでしょうか。

田口「魚の入っている箱などですと、ほとんど溶融して量を減らして埋立処分をしているのが現状です。リサイクルとなると、レットルをはがすのはもちろん、洗ったりとか人手がかかるんですね。人件費を考えるとなかなかそこまではいきません。今後、燃料化などのリサイクルの方には向かっていきたいと考えているのですが、なかなかコンスタントに量が集められません。再資源化は使命だと思っていますが、ストックヤードが少ないという問題もありますし。」

— その他には何か手がけていることはありますか。

田口「資源ごみの収集もやっているのですが、市の基本的な委託方針が決まっていらないのが現

状で、現在はボランティア活動優先のかたちです。非常にきびしいのですが、やっていかなくてはいけないことですから、長期的な視野で考えています。実は最近、不法投棄を回収する依頼があって見に行ったんです。行ってみると、冷蔵庫とかタイヤとか流し台が、山の中の谷に捨ててありました。見積りをして始めると、奥からどんどん出てきて、とても見積りと合わない量になってきたんです。1カ所で6車くらいの量がありますね。もう赤字覚悟なのですが、地域のためにと努力しているところです。」

— 社長は協会青年部の会長をされていますが、活動への意気込みをお聞かせください。

田口「青年部は情報交換の場として非常に有意義になっています。ひとりでも多くの方に参加していただき、青年部をどんどん盛り上げていきたいと思っています。」



社名/日の出衛生保繕株式会社 所在地/愛知県日進市米野木町奥畑55
代表者/田口正信 創業/昭和33年 従業員/35名 TEL/05617 (2) 0450
事業所/本社
営業種別/浄化槽清掃・維持管理・設置施工・収集運搬・中間処理
取扱い品目/廃プラスチック、金属くず、ガラス・陶磁器くず、建設廃材、感染性産業廃棄物